

2024年度第2回阪神競馬特別レース名解説

<第1日>

○ 君子蘭賞

君子蘭（くんしらん）は、ヒガンバナ科クンシラン属の総称。原産は南アフリカで、日本へは明治時代に伝わった。春にオレンジ色で広漏斗状の花をつける。花言葉は「高貴」「誠実」。

○ 丹波特別

丹波（たんば）は、旧国名のひとつ。現在の京都府中部と兵庫県東部にあたる。本能寺の変で主君の織田信長を討った明智光秀が領有していたことで知られる。日本六古窯のひとつである丹波立杭焼が有名。

また、兵庫県東部の市。同市は2004年に氷上郡の柏原・氷上・青垣・春日・山南・市島の6町が合併して誕生した。

○ 毎日杯（GⅢ）

本競走は、1954年に創設された重賞競走。創設当初は『東京優駿（日本ダービー）』の直後に実施されていたが、1971年に実施時期が3月に繰り上げられた。また、2007年に実施距離が2000mから1800mへと短縮された。

毎日新聞社は、東京など全国に4ヶ所の本社を置く新聞社。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第2日>

○ 四国新聞杯

四国新聞社は、香川県高松市に本社を置く新聞社。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

○ 御堂筋ステークス

御堂筋（みどうすじ）は、大阪市北区と中央区の2区を南北に通じる約4kmの幹線道路。名は、本町付近の西側沿いに西本願寺別院の北御堂と、東本願寺別院の南御堂があることに由来し、沿道のイチョウ並木は市のシンボルとなっている。

○ 六甲ステーキス（L）

六甲（ろっこう）は、神戸市灘区の地名。兵庫県南東部に位置する六甲山は、周辺の鉢伏山・鉄拐山・石楠花山・摩耶山などと六甲山地を形成し、その最高峰に位置している。冬季を中心に六甲山系から吹き降ろす強い寒風を「六甲凧（おろし）」と呼び、プロ野球球団「阪神タイガース」の球団歌の通称としてその名が知られている。

<第3日>

○ 三木ホースランドパークジャンプステーキス

三木（みき）ホースランドパークは、1999年に開園した兵庫県三木市にある馬事施設。体験乗馬などを通じて馬を身近に感じられるほか、総合馬術競技場・キャンプ場・研修センターなども併設されている。

○ アザレア賞

アザレア（Azalea）は、ツツジ科の常緑低木。花は大形で、色は桃・紅・白など多彩。台湾の原種がヨーロッパで改良され、その品種は150以上にのぼる。花言葉は「恋の喜び」「自制心」。

○ ラジオ関西賞仲春特別

仲春（ちゅうしゅん）は、陰暦2月の異称。季語や時候の挨拶などに用いられる。ラジオ関西は、兵庫県神戸市に本社を置く放送局。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

○ ポラリスステーキス

ポラリス（Polaris）は、こぐま座のアルファ星で北極星。北極星は、地球の自転軸を北極側へと延線した線上付近に位置し、地球上からはほとんど動いていないように見える。そのため、天測航行の際には正確な測定をするための固定点として用いられる。

<第4日>

○ バイオレットステーキス

バイオレットは、すみれ属の一般的な英語名。日本ではニオイスマイレのことを指すことが多い。ニオイスマイレは、ヨーロッパ地中海沿岸地方、北アフリカを原産地とする多年草。すみれ色、濃紫色を指す言葉としても使われる。2月の誕生花。花言葉は「誠実」「ひかえめ」。

○ JRAウルトラプレミアム キタサンブラックカップ

本競走は、JRA70周年「メモリアルヒーロー」ファン投票において、『大阪杯』の歴代優勝馬の中から選ばれたキタサンブラック号の名を冠した競走。

キタサンブラック号は、2017年（第61回）の『大阪杯』優勝馬。2017年からG Iに昇格した同レースの他にも、『天皇賞（春）』連覇など、G I 7勝という輝かしい実績を残した。これらの実績から、2016年・2017年と2年連続でJRA賞年度代表馬に、2020年には顕彰馬にも選定された。

なお、本競走は、払戻額を大幅に増加させる「JRAウルトラプレミアム」の対象競走。

○ 大阪杯（G I）

本競走は、1957年に創設された重賞競走。創設当初は1800mで実施されていたが、1972年に2000mとなり、1981年に実施時期が3月上旬から約1ヶ月繰り下げられた。春季競馬における古馬中距離路線の一層の充実を図るため、2017年にG I競走へ格上げされ、現在に至る。

○ 陽春ステークス

陽春（ようしゅん）は、陽気の満ちた暖かな春のこと。陰暦正月の異称でもある。

<第5日>

○ 白鷺特別

白鷺（しらさぎ）は、サギ科の中でも白い鳥の総称。日本にはダイサギ・チュウサギ・コサギなどが生息している。世界文化遺産で国宝の姫路城は、その白亜の美しさから「白鷺城」とも呼ばれている。

○ 大阪ーハンブルクカップ

本競走は、大阪市と友好都市提携しているドイツ・ハンブルク市と、競馬を通じて国際親善を深める目的で1997年に創設された交換競走。

ハンブルク（Hamburg）は、ドイツ北西部に位置するドイツ第二の都市。同市にあるハンブルク競馬場では、阪神競馬場との交換競走として『Hanshin Cup』が実施されている。

○ サンケイスポーツ杯阪神牝馬ステークス（GⅡ）

本競走は、1958年に『阪神牝馬特別』として創設された重賞競走。2001年には、『阪神牝馬ステークス』へと競走名が変更された。創設以来、数回の距離変更を経て2007年からは1400mで実施されてきたが、2016年から1600mに延伸して実施され、『ヴィクトリアマイル』の前哨戦としての位置付けをより色濃くしている。

なお、第1着馬には同年の『ヴィクトリアマイル』への優先出走権が与えられる。

サンケイスポーツは、産業経済新聞社より発行されているスポーツ紙。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第6日>

○ 宝塚市制70周年記念

本競走は、宝塚市制施行70周年を記念して実施される。

宝塚は、兵庫県南東部に位置し、年間約850万人もの観光客が訪れる観光都市。宝塚町と良元村が合併し1954年4月1日に市制施行。1955年には長尾村と西谷村が編入された。面積約101km²、人口約22万人。名湯で名高い有馬温泉と同じ成分である宝塚温泉や、幼少期を宝塚市で過ごした漫画家、手塚治虫の功績を称える手塚治虫記念館等の観光施設が有名。なお、同館は今年開館30周年を迎えた。

○ 忘れな草賞（L）

忘れな草（わすれなぐさ）は、ヨーロッパ原産のムラサキ科の多年草。春に尾状に巻いた花序を出し、青紫色などの小花をつける。花言葉は「真の愛」「私を忘れないで」。

○ JRAウルトラプレミアム ダイワスカーレットカップ

本競走は、JRA70周年「メモリアルヒーロー」ファン投票において、『桜花賞』の歴代優勝馬の中から選ばれたダイワスカーレット号の名を冠した競走。

ダイワスカーレット号は、2007年（第67回）の『桜花賞』優勝馬。同レースで後にダービー馬となるウオッカ号に勝利し、さらに同年の『秋華賞』『エリザベス女王杯』も制してJRA賞最優秀3歳牝馬に選定された。翌2008年には、牝馬としては37年ぶりとなる『有馬記念』優勝を達成。生涯成績はGⅠ4勝、12戦すべてで連対を果たすなど、輝かしい実績を残した。

なお、本競走は、払戻額を大幅に増加させる「JRAウルトラプレミアム」の対象競走。

○ 桜花賞 (G I)

本競走は、イギリスの『1000 ギニー』に範をとり、1939年に『中山4歳牝馬特別競走』として創設された重賞競走。牝馬3冠競走(『桜花賞』・『優駿牝馬』・『秋華賞』)の第一関門となっている。創設当初は中山競馬場の1800mで実施されていたが、1947年に京都競馬場へ舞台を移し、実施距離を1600mへ変更したのを機に現在の競走名となった。その後、1950年に開催場が阪神競馬場に移され、現在に至る。

桜花(おうか)は、桜の花の意。桜は、バラ科サクラ亜科サクラ属の落葉広葉樹の総称であり、桜色といわれる白色や淡紅色の花を咲かせる。色や形は種類によって異なり、古くから春の訪れを知らせる存在として日本人に馴染み深い花の一つになっている。花言葉は「純潔」「精神美」。

なお、第5着までの馬には『優駿牝馬(オークス)』への優先出走権が与えられる。

○ 梅田ステークス

梅田(うめだ)は、大阪市北区西部の一地区。1874年に現在のJR大阪駅が開設されてから急速に発展し、JR・阪急電鉄・阪神電車・地下鉄・バスなどが集中する、関西一の大ターミナルとなった。大阪駅、梅田駅周辺には「キタ」と呼ばれる繁華街が広がる。

なお、同地区にはJRAの場外勝馬投票券発売所であるウインズ梅田がある。

<第7日>

○ 明石特別

明石(あかし)は、兵庫県南部、明石海峡に面する市。かつては山陽道・四国街道の分岐点の宿駅で、松平氏の城下町であった。東経135度の日本標準時子午線上に明石市立天文科学館がある。

○ 天満橋ステークス

天満橋(てんまばし)は、大阪府大阪市の大川にかかり、北区と中央区を結んでいる橋。江戸時代から天神橋、難波橋と並び浪華三大橋(なにわさんだいきょう)と呼ばれ、市井の人々に親しまれていた。また、天満橋南詰周辺を指す地名でもある。

○ アーリントンカップ (G III) (NHKマイルカップトライアル)

本競走は、1987年に『ペガサスステークス』の名称で創設された重賞競走。1992年に阪神競馬場とアーリントンパーク競馬場が姉妹競馬場として提携したことに伴い、『アーリントンカップ』に改称された。2017年までは2月下旬から3月上旬に実施されていたが、2018年より4月に移設され、『NHKマイルカップ』のトライアルレースとなった。

なお、第3着までの馬には『NHKマイルカップ』への優先出走権が与えられる。

<第8日>

○ 三木市制70周年記念三木特別

本競走は、三木市制施行70周年を記念して実施される。

三木（みき）は、兵庫県南部の市。室町時代には別所氏の城下町として栄えた。江戸時代から金物業が発達し、大工道具や園芸用具などの製造が盛ん。また、酒米である山田錦の主産地としても有名。なお、同市は馬事施設やキャンプ場等を併設する三木ホースランドパークの所在地でもある。

○ 立雲峡ステークス

立雲峡（りつうんきょう）は、朝来山の中腹に位置する峡谷。春には樹齢300年を超える老桜を筆頭に山桜やソメイヨシノが咲き誇り、山陰随一の桜の名所として但馬吉野と呼ばれている。立雲峡のある朝来郡山県立自然公園の展望台からは、「天空の城」と称される竹田城跡を望むことができる。

○ JRA70周年記念 アンタレスステークス（GⅢ）

本競走は、1996年に創設された重賞競走。本年は、JRA設立70周年を記念して実施される。1997年に京都競馬場へと舞台が移されたが、2012年より再び阪神競馬場へ移設され、現在に至る。また、創設当初はハンデキャップ戦であったが、2003年に別定重量戦へと負担重量が変更となった。

アンタレス（Antares）は、さそり座のアルファ星で、直径は太陽の約700倍とも推定される赤色超巨星。ギリシャ語で「火星に対するもの」の意。